

会計年度任用職員の取扱いについて

1 退職手当の支給対象となる条件

- ・ 18日以上勤務した月が6月を超えた場合
- ・ 1日の勤務時間がフルタイム（7時間45分）である

2 勤務日数について

休日を除いた1月間の日数が20日未満の場合は、その月の勤務日数が18日未満であっても18日以上勤務した月と同様に取り扱う。（R4.10.1以降の月に適用）

例）令和5年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1 ①	2 ②	3 ③	4
5	6 ④	7 ⑤	8 ⑥	9 ⑦	10 ⑧	11
12	13 ⑨	14 ⑩	15 ⑪	16 ⑫	17 ⑬	18
19	20 ⑭	21 ⑮	22 ⑯	23 祝日	24 ⑰	25
26	27 ⑱	28 ⑲				

(1) 1月の日数：28日

(2) 土曜日、日曜日、祝日：9日

(3) 1月の勤務日数：(1)-(2)=19日

18日-（20日-(3)）=17日

※17日以上出勤していれば、18日以上勤務した月と同様に取り扱う

（参考）

令和5年度の勤務日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1月の日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
休日（土・日・祝日等）	10	11	8	11	9	10	10	10	10	12	10	11
勤務日数	20	20	22	20	22	20	21	20	21	19	19	20

※令和6年1月は、2日・3日も休日として取り扱う。

1月、2月は17日以上勤務していれば18日以上勤務した月と同様に取り扱う。